



良いことを進んで行う力

良いとわかっているのに、行動に表すことは大人でも難しいことです。

なぎさっ子が日頃から、正しいこと、良いことに心寄せて行動する姿に感心させられたことが何度もありました。どのような体験をすれば、とっさに判断してより良い行動をすることができるのでしょうか。前期終業式の日には、次のように紹介しました。

「ある朝のことです。次々に正門を通過して子どもたちが登校します。ちょうど、健康診断の準備関係の人たちが大きな機材を数人で持ち運んで来られました。通りがかった一人の男子児童がさっと機材の端を持って手伝ってくれたのです。一瞬の判断でした。そのまま、保健室の方へ持ち運ぶ様子を見てとてもうれしく思いました。

きっと、頼めば、だれもが手伝ってくれたでしょう。言われなくても持ってあげたいと思った一人の児童の判断力と行動力に敬服しました。きっと、平素から自分で考えて行動することができる子なんだろうなと思いました。

また、ある朝のこと、横断歩道で勢いよく転んで涙が出そうになった低学年の子を見て通りがかった6年生が、「私が保健室に連れて行ってあげましょう。」と優しく声をかけてくれました。小さな子にやさしく接している後姿を見て、とてもうれしい気持ちになりました。

皆さんもたくさん良いと思うことを進んで実践していることと思います。このような立派な5年生や6年生をお手本にしてこれから学校生活や勉強の中で力をつけましょう。もっともっと力を磨いてください。」と。

このような子どもに共通するのは、人の気持ちがわかる子だということです。きっと、いろいろな経験をしながら人の気持ちの在り様を知ったのでしょうか。さらに、家庭でも学校でも気持ちを伝え合うことを通して人の心を理解する力が備わったのではないのでしょうか。気持ちの伝えあいは大切です。



すだち

すだちもゆずの近縁の柑橘で、かぼすと同じミカン科ミカン属です。1個の重さは40グラムほどの小ぶりの柑橘です。なぎさでは、ピオーブのそばに植えてあります。さんまの塩焼きやうどんに添えて食べると風味がまして一層おいしく感じます。

9月10月の生活目標

- 9月・体をきたえよう
- ・生活のリズムをととのえよう
- 10月・力を合わせて取り組もう（運動会）

なぎさっ子の4つの柱

- 1 しっかり学ぶ子どもです。
- 2 人の役に立ち、人に喜ばれる行いを進んで実践する子どもです。
- 3 いろいろな立場や世界の人と共に生きる子どもです。
- 4 心を豊かにし、体を鍛え、夢に向かって努力する子どもです。

コロナさん

ともだちできたよ

もうこないで

1年 けんせい

1年生

心は密に よろしくね

6年 波音

なぎさ俳句会
優秀作品より 夏